

令和7年度後期の学校づくりに向けて ー前期学校評価アンケートの結果ー

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。評価の結果は下記のとおりです。アンケート結果を真摯に受け止め、教職員一丸となって今後の学校づくりを進めてまいります。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

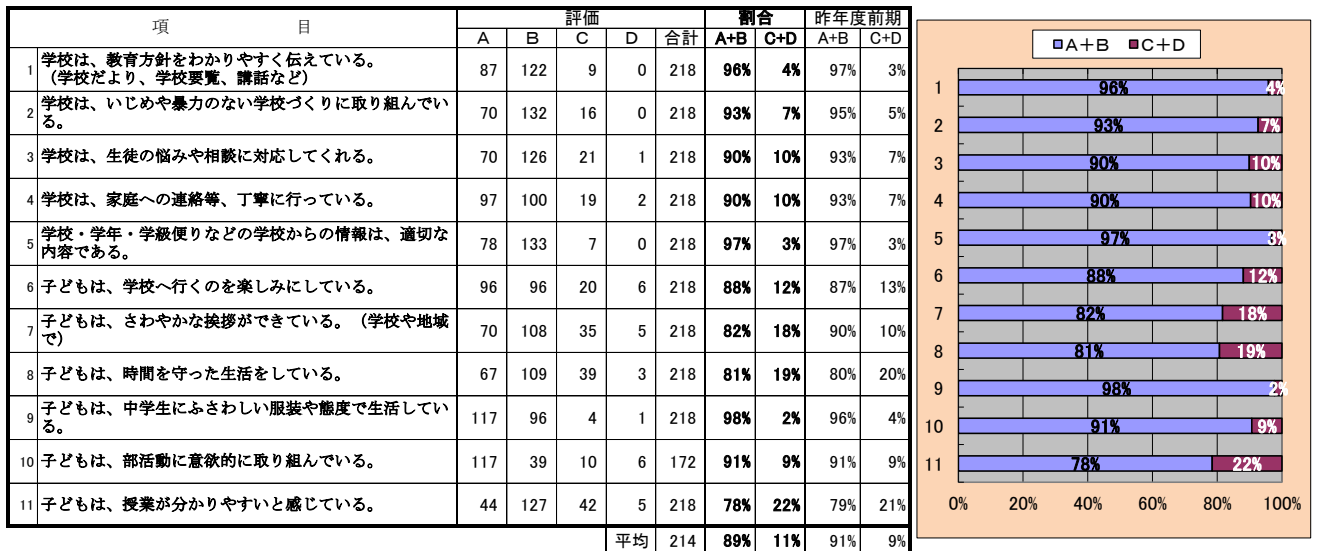


○「学習自己評価」「授業自己評価」(項目1～7)の評価結果を見ますと、昨年度前期の割合と比較して多くの項目ではA+Bの割合に大きな変動はありません。全体として本校生徒の学習への取り組み方の良さがうかがえます。項目1ではA+Bの割合が特に高く、学習の準備や授業開始時刻への意識を今後も大切にしていまいります。

○「生活自己評価」(項目8～15)では、昨年度とは同程度ですが、概ね90%を越えています。しかし、あいさつや生徒会活動への参加意識が昨年度と比較してやや低下しているため、後期は生徒会を中心としたあいさつ活動や、その他の生徒会活動への参加をより充実させてまいります。

○「生活評価」(項目16～18)では、全項目で昨年度よりやや高くなっています。しかし、項目16の評価が他に比べると高くはないため、日常的に職員1人ひとりが多い多くの生徒に声をかけることを意識しながら、生徒の気持ちの変化に気づくことを大切に、生徒に寄り添った気持ちと行動を高めてまいります。

教育に関するアンケート集計(保護者)



○全般的に、向上が見られています。引き続き、保護者との信頼関係を大切にして、家庭とともに生徒を向上させていきたいと考えています。

○学校からの情報発信(項目1、5)については、昨年度に引き続き、A+Bの割合が90%以上と高い割合です。今後も学校生活の様子や学校運営の願いなど、ホームページを活用した『学校だより』や、学年通信等を通じて発信してまいります。

○項目2～4については、90%を上回っているものの、昨年度よりやや下がってしまいました。100%までの数%を大切に考えてまいります。生徒の悩みや相談に即時対応するとともに、生徒間のトラブルに際しては、十分に聞き取りを行った上で、家庭とも情報を共有し、継続した支援を心がけます。また、担任だけでなく、学年職員、教科担任をはじめ、全職員が足並みをそろえ、生徒の指導と支援にあたります。

○学校の取り組みとして力を入れている「あいさつ」について、昨年度と比較して本年度は8%下がってしまいました。「あいさつ」は社会に出た時にも大切な、最も基本的なコミュニケーションであると考えています。より一層さわやかなあいさつが定着するように、生徒会や学年の活動、部活動の中でも大切にするとともに、私たち教師も率先してさわやかなあいさつを心掛け、生徒とともにあいさつの向上に励んでまいります。

教育に関するアンケート集計（教職員）



○本校において大切に考えている「生徒が安心して学習、学校生活に取り組めるための規範意識の醸成」「生徒が困難に陥ったときの素早い対応」、また、「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」について全職員が心掛け、実践しています。今後も引き続き継続します。

○項目1～3については90%を上回っているものの、昨年度からやや低下しています。単元の中でつける力を明確にしながら、さらに個に応じた指導ができるように努めてまいります。また、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向け、授業の中で生徒同士が意見・思いを伝え合い、相互に高め合う対話的な活動をさらに大事にします。

○項目10については、第五中学校でこれまで大切にしてきた三重点について、授業、生徒会活動、部活動とあらゆる場面で大切に考えてまいります。項目11については昨年度よりもポイントが上がっています。今後も規範意識や生命尊重の大切さを丁寧に指導してまいります。

○項目18・19については、なかなか時間が取りにくい中ではありますが、個々に研修を積むことはもちろん、教職員同士が互いに研修し合う(互いの授業や学級経営を見合う)機会を設け、校内研修についても充実を図ってまいります。また、そこで得たノウハウを生徒への支援・理解につなげてまいります。

※学校評価アンケートでは、『学校への要望』等の記述欄に貴重なご意見を多数いただきました。本当にありがとうございました。
内容を教務会や職員会でしっかりと検討してまいります。
今後とも、第五中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いするとともに、些細なことでも学校にご意見やご連絡をよろしくお願いいたします。